

(2) 【分析2】全国学力・学習状況調査

① 調査の概要

(ア) 調査対象及び抽出調査を実施した学校数及び集計対象者数（県内公立学校）

| 学 年 | 学校数 | 集計対象者数 |
|-----------------------|------|---------|
| 小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年 | 137校 | 6,276人 |
| 中学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年 | 121校 | 11,297人 |

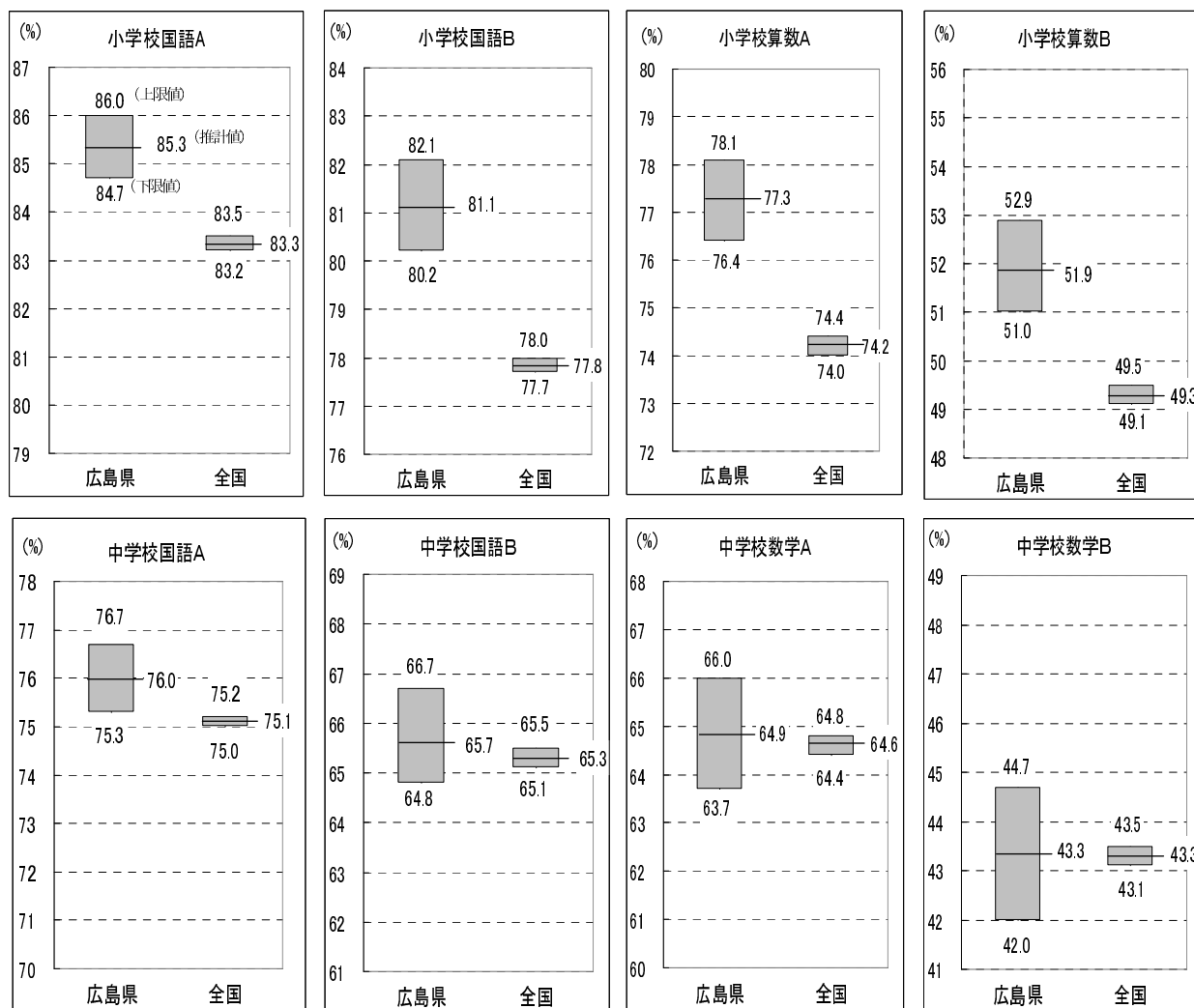
(イ) 実施期日 平成22年4月20日（火）

(ウ) 調査内容

- a 教科に関する調査（国語，算数・数学）
- 主として「知識」に関する問題
 - 主として「活用」に関する問題
- b 生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査
- 児童生徒に対する調査
 - 学校に対する調査

② 教科に関する調査の結果

■ 調査実施教科の平均正答率の95%信頼区間の上限値・下限値及び平均正答率の推計値（公立学校）



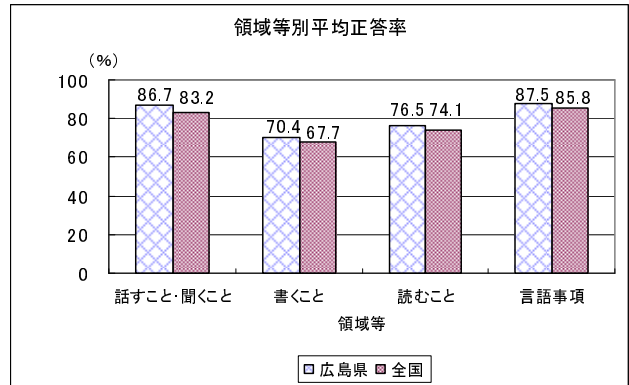
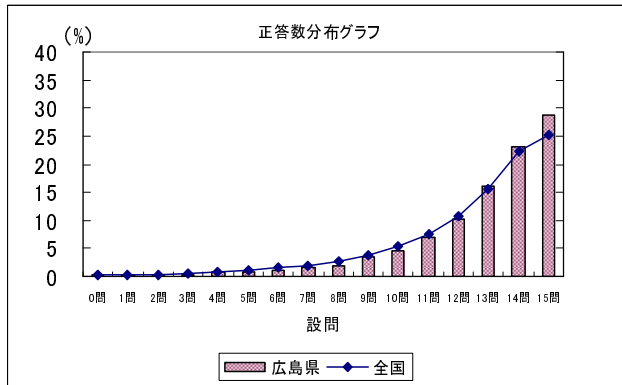
③ 教科に関する問題の調査結果

(平均正答率は、抽出調査の結果からの推計値である。)

(ア) 小学校 国語

- 国語A（知識）については、平均正答率が85.3%で、知識・技能はおおむね定着している。
- 国語B（活用）については、平均正答率が81.1%で、知識・技能を活用する力はおおむね定着している。

国語 A



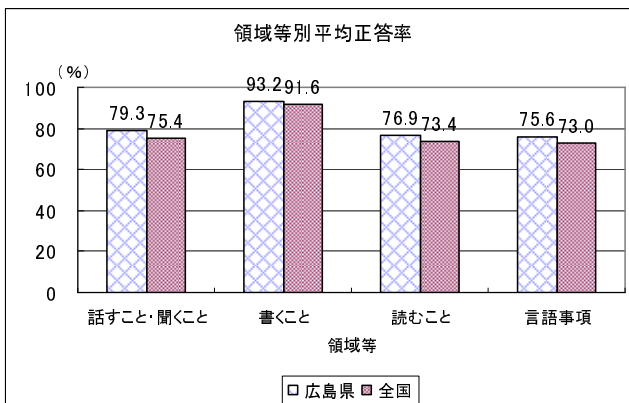
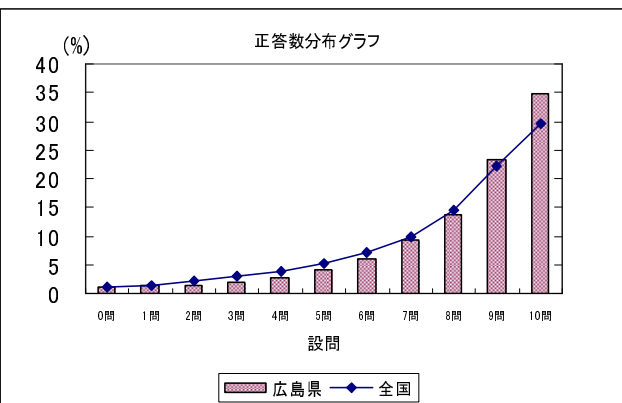
正答率上位2問

- 漢字を読む (新しいクラスに慣れる) 97.3% (全国 96.2%)
- 漢字を読む (清潔なハンカチを持つ) 97.0% (全国 96.5%)

正答率下位2問

- メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く 63.0% (全国 60.3%)
- 物語の登場人物の関係をとらえて書く 68.0% (全国 65.0%)

国語 B



正答率上位2問

- 学校新聞に対する二つの意見の共通点を書く 94.9% (全国 93.7%)
- 学校新聞に対する二つの意見の相違点を書く 91.5% (全国 89.5%)

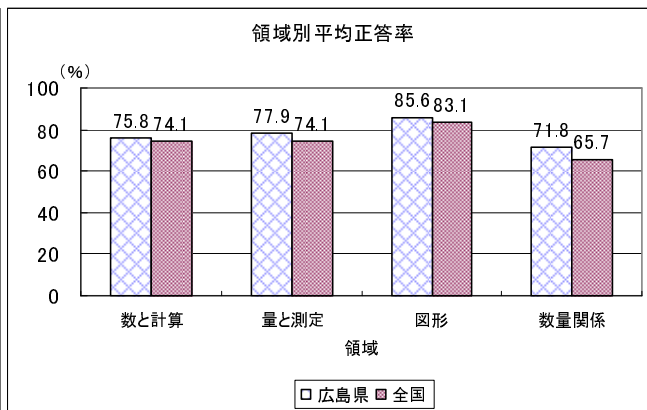
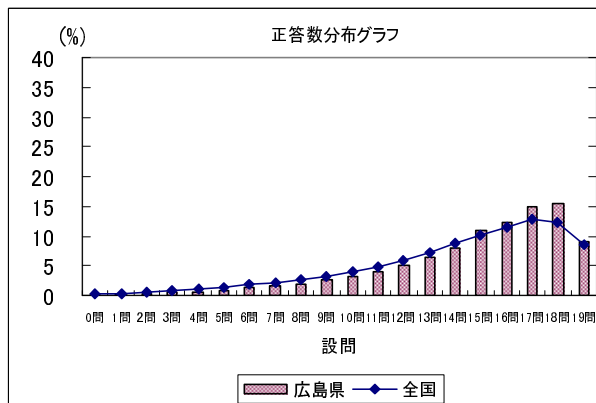
正答率下位2問

- 三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く 70.2% (全国 65.5%)
- 聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選択する 73.2% (全国 69.9%)

(イ) 小学校 算数

- 算数A（知識）については、平均正答率が77.3%で、知識・技能はおおむね定着している。
- 算数B（活用）については、平均正答率が51.9%で、すべての領域に課題がある。特に「量と測定」「図形」の領域の平均正答率が低く、知識・技能を活用する力を身に付けさせる必要がある。

算数 A



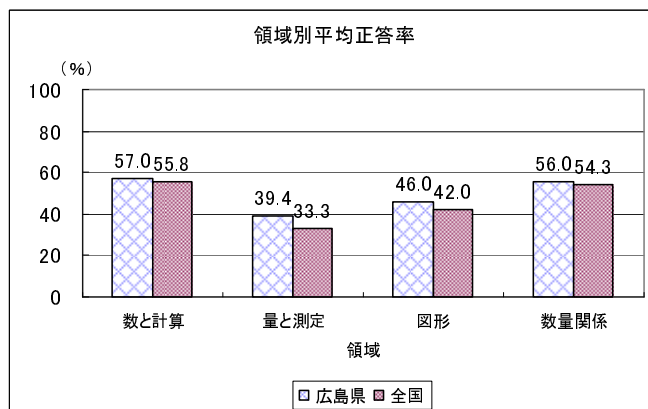
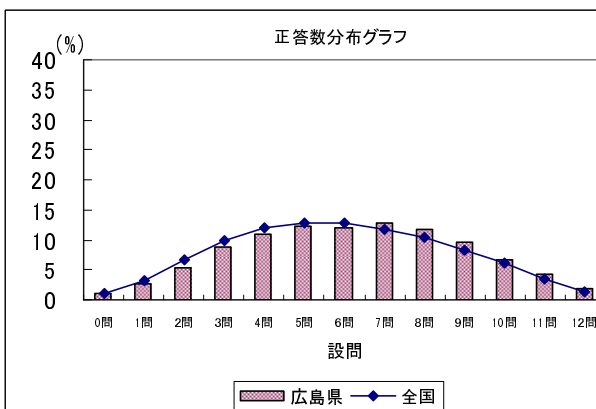
正答率上位2問

- $912 \div 4$ を計算する
91.0% (全国 89.6%)
- 立方体の展開図をかき場面で、5つの面が示されたとき、残りの1つの面をかき場所を選ぶ
88.9% (全国 88.3%)

正答率下位2問

- 2ℓのジュースを3等分したときの1つ分の量を分数で表す
38.0% (全国 40.2%)
- 8mの重さが4kgの棒の1mの重さを求める式と答えを書く
56.8% (全国 53.8%)

算数 B



正答率上位2問

- 3つの円グラフを見て、けかが最も多く起こった場所を書く
96.5% (全国 95.9%)
- 示された部品を組み立てて、作ることができる本立てを2つ選ぶ
69.4% (全国 65.6%)

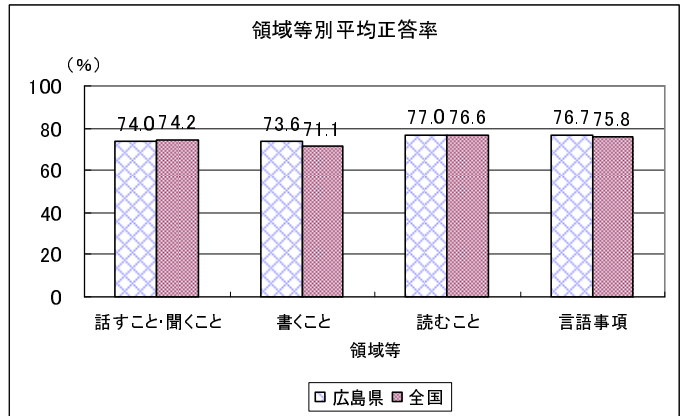
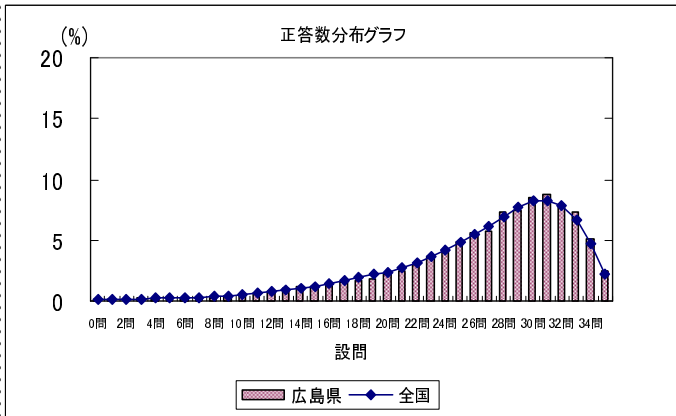
正答率下位2問

- バスのドアが動く様子を表した図を見て、円周の一部と直線の長さの大小についての正しい記述を選び、判断のわけを書く
19.6% (全国 14.6%)
- 割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く
22.6% (全国 17.1%)

(ウ) 中学校 国語

- 国語A（知識）については、平均正答率が76.0%で、知識・技能はおおむね定着している。
- 国語B（活用）については、平均正答率が65.7%で、すべての領域等に課題がある。特に「話すこと・聞くこと」の領域の平均正答率が低く、知識・技能を活用する力を身に付けさせる必要がある。

国語 A



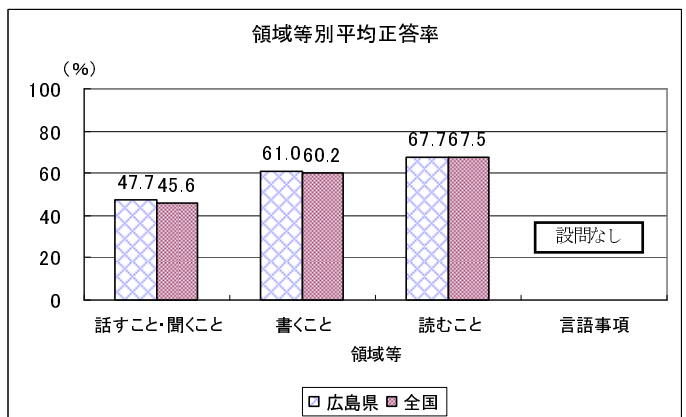
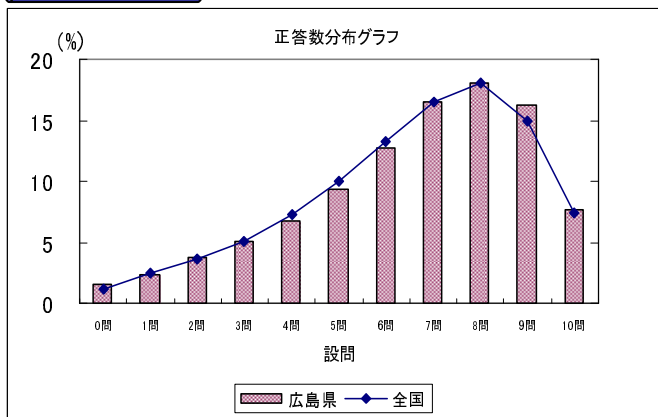
正答率上位2問

- 漢字を読む（結論を導く） 96.4% (全国 96.3%)
- 漢字を読む（衝撃を受ける） 94.8% (全国 94.8%)

正答率下位2問

- 一文を二文に分けて書く 41.0% (全国 41.4%)
- 同訓異字から適切なものを選択する（会議で決を採る） 44.4% (全国 43.2%)

国語 B



正答率上位2問

- 前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択するB 88.8% (全国 89.2%)
- 前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択するA 86.4% (全国 85.3%)

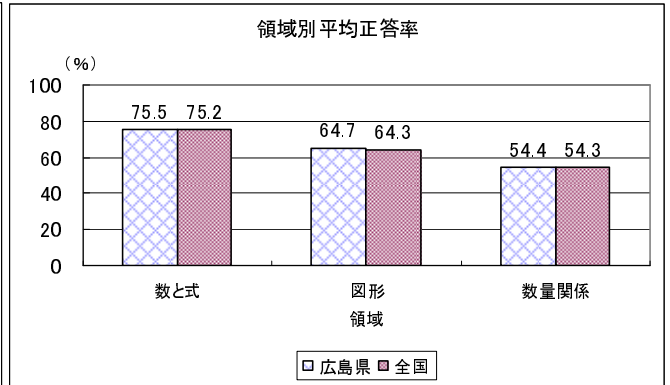
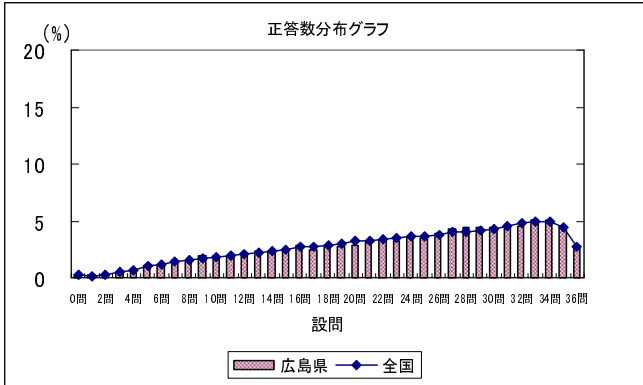
正答率下位2問

- 本文中の表現がたとえている内容をとらえて書く 36.4% (全国 35.5%)
- 資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く 47.7% (全国 45.6%)

(エ) 中学校 数学

- 数学A（知識）については、平均正答率が 64.9%で、「図形」「数量関係」の領域に課題があり、知識・技能の定着を図る必要がある。
- 数学B（活用）については、平均正答率が 43.3%で、すべての領域に課題があり、知識・技能を活用する力を身に付けさせる必要がある。

数学 A



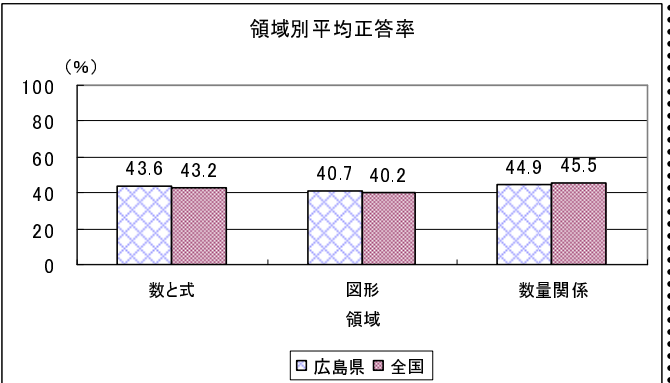
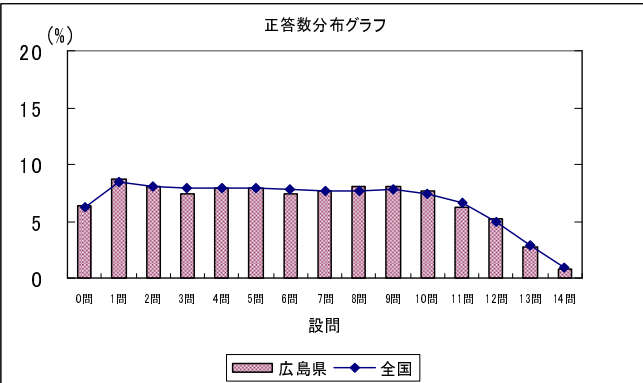
正答率上位2問

- $b \times 5 \times a$ を、文字を用いた式の表し方にしながら書く 91.5% (全国 90.8%)
- $x=3$ のときの式 $12/x$ の値を求める 90.1% (全国 90.3%)

正答率下位2問

- 16cm の長さのひもで作る長方形の縦の長さと横の長さの関係を式で表す 22.3% (全国 22.9%)
- $y = -2x$ 上の点を選ぶ 38.5% (全国 40.4%)

数学 B



正答率上位2問

- 身体活動量を求める式を用いて、自転車で 30 分間乗ったときの身体活動量を求める 72.7% (全国 72.7%)
- パイプの構造を図形としてとらえ、パイプの端点をつないでできる図形の名前を書く 59.6% (全国 57.8%)

正答率下位2問

- 平行四辺形になることを証明するための根拠となる事柄を書く 9.6% (全国 9.4%)
- 連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを説明する 24.4% (全国 24.3%)